

「ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業」の 平成18年度受託実施機関の公募について

平成18年7月3日
文部科学省研究振興局
ライフサイエンス課

文部科学省では、平成18年度から「ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業」を推進することとしております。このたび、本事業を実施する機関の公募を行いますのでご案内致します。

1. 目的

現在、我が国は、第3期「科学技術基本計画」（平成18年3月28日閣議決定）のもとに、「科学技術創造立国」を目指して諸施策を実施しております。同基本計画においては、「抜本的な科学技術システム改革」が求められており、その中で2010年に世界最高水準を目指してデータベースを含む「知的基盤の戦略的な重点整備」を進めることとされています。さらに、同基本計画に基づき、総合科学技術会議が策定したライフサイエンス分野の推進戦略では、戦略重点科学技術の1つとして「世界最高水準のライフサイエンス基盤整備」が掲げられています。

生命情報の統合化データベースはライフサイエンス研究を支える基盤であり、その整備を進めるために必要な戦略の検討と技術開発等を行なうため、「ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業」の平成18年度受託実施機関の公募を行ないます。

2. 「ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業」の概要

現在、我が国のライフサイエンス分野の国内主要データベースの統合化と継続的な維持方策の必要性が指摘されています。

そこで本事業では、我が国のライフサイエンス関係のデータベースの利便性の向上を図るため、我が国のライフサイエンス関係データベース整備戦略の立案・評価支援、データベース統合化の基盤技術開発、ポータルサイトの整備等を行い、統合化を推進します。

3. 対象

国内の研究機関又は大学、大学共同利用機関法人（以下、「機関等」）を対象とします。（企業にあっては国内に法人格を有するもののみ。）

複数機関で実施体制を組んで申請して頂いても構いませんが、その場合は中核となる機関を定めた上で当該機関は他機関の研究進捗管理、文部科学省との連絡調整などプロジェクトの総合的推進の責任を負う必要があります。

なお、申請は機関の長（学長、理事長等）が行うものとします。

4. 公募期間

平成18年7月3日（月曜日）～平成18年7月31日（月曜日）

5. スケジュール

平成18年

7月 3日（月曜日）	公募開始
7月31日（月曜日）	公募〆切
～8月中旬（予定）	審査
～8月下旬（予定）	委託契約、事業開始

※詳細については、文部科学省ライフサイエンスポータルサイト

(http://www.lifescience-mext.jp/download/news/life_DBkoubo.html) より、
公募要領・提出書類の様式をご参照ください。

（お問い合わせ先）

文部科学省研究振興局

ライフサイエンス課

担当：野田、松永

代表電話：03(5253)4111(内線 4381)

直通電話：03(6734)4104

e-mail：life@mext.go.jp

平成18年9月13日

文部科学省

「ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業」に関する 受託実施機関の決定について

文部科学省では、平成18年度から「統合データベースプロジェクト」を推進しております。本プロジェクトにおいて取り組むこととしている「ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業」について、このたび、受託実施機関を決定しましたので発表します。

1. 事業の目的

「統合データベースプロジェクト」は、我が国の生命科学分野のデータベースを戦略的に統合するための戦略立案・評価支援、統合化のための基盤技術開発等を行うことにより、ライフサイエンス関係データベースの統合的活用システムを構築・運用し、幅広いライフサイエンス分野の科学技術の進展に大きく貢献することを目的としています。

2. 決定した委託実施機関

外部有識者から構成される受託実施機関選考委員会（別紙1）における審査に基づき、以下の申請機関を受託実施機関として決定し、本プロジェクトを実施することとなりました。（平成18年度事業の概要などは別紙2参照）

申請機関 : 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

研究代表者 : 堀田 凱樹(大学共同利用機関法人情報・システム研究機構長)

(本件照会先)

研究振興局ライフサイエンス課
松永、石塚

TEL:03-6734-4369(直通)

「ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業」
選考委員名簿

主査

郷 通子 お茶の水女子大学 学長

鎌谷 直之 東京女子医科大学
 附属膠原病リウマチ痛風センター 所長

榊 佳之 理化学研究所
 ゲノム科学総合研究センター・センター長

末松 誠 慶應義塾大学 医学部 教授

山本 博一 アステラス製薬株式会社 研究本部研究企画部 部長

統合データベースプロジェクトの18年度事業概要

(別紙2)

【事業の目的】 我が国のライフサイエンス関係のデータベースの利便性の向上を図るため、データベース整備戦略の立案・評価支援、統合化及び利活用のための基盤技術開発、人材育成等を行い、ライフサイエンス関係データベースの統合的活用システムを構築・運用する。

【想定される成果】 これまでの研究成果の蓄積を網羅的・安定的に利用できるようになり、ライフサイエンス研究の発展に不可欠な基盤となる。また統合化アルゴリズムの開発等による既存データの新たな活用や、産業界・医学関係者などによる応用利用を通して新たな知見が得られる。

【18年度実施内容】

- データベースの現状調査、評価、戦略立案
- ポータルサイトの構築、運営
- 統合化技術の研究開発

【実施機関】

責任機関：大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

参画機関：独立行政法人科学技術振興機構、国立大学法人九州大学

協力機関：東京大学、埼玉医科大学、(財)かずさDNA研究所、(株)三菱総合研究所、大阪府立成人病センター、(独)産業技術総合研究所 ほか